

第 39 回生殖・発生毒性学東京セミナー開催のお知らせ 第 2 報

生殖・発生毒性学東京セミナーを下記のとおり開催いたします。

多くの方の参加をお待ちしております。

記

日時： 2024 年 9 月 21 日 土曜日 13～17 時

会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 (405 号室)

参加費：1,000 円 懇親会費：4,000 円 (予定)、税区分は不課税です。

参加受付：生殖・発生毒性学東京セミナーHP お知らせページにて受付中です。

当日参加も可能ですが、出来るだけ事前登録 (特に懇親会に参加される場合) をお願いいたします。

プログラム:

13:05～ 受け付け

13:20～ 開会のことば

進行係 横田 委員、則武 委員

13:30～14:50 「ゼブラフィッシュを用いた生殖発生毒性の課題と現状」

平田 普三 先生 青山学院大学 理工学部

「世界がアニマルウェルフェアに取り組む中、学术界や産業界は動物実験代替法としての NAMs (New Approach Methodologies) の開発に力を注いでいます。NAMs として、化学反応に基づく *in chemico*、オルガノイドや iPS に代表される *in vitro* に、また *in silico* 予測に期待が寄せられていますが、生殖発生毒性に代表される全身毒性の代替法は未だ確立されていません。現在、新興の NAMs として、ゼブラフィッシュを用いた非哺乳動物 *in vivo* が注目されています。私はゼブラフィッシュを用いた脳科学の基礎研究をしてきましたが、抑制性シナプス伝達の受容体の阻害剤を探索する研究をきっかけにゼブラフィッシュを用いた生殖発生毒性に関心をもち、毒性学研究に参入しました。本講演ではゼブラフィッシュを用いた生殖発生毒性の日本と世界の現状についてお話しします。」

(休憩)

15:10～16:30 「胎盤 MPS の開発動向」

梶 弘和 先生 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 診断治療システム医工学分野

「現在、特に創薬分野において前臨床試験のヒトへの外挿性を向上させることを目的に、生体模倣システム（MPS）の開発が盛んに検討されている。各種臓器の中でも胎盤は、動物種により構造や機能が大きく異なるため、ヒト胎盤機能を有するMPSの開発は、生物医学的価値が高く、医薬品のみならずサプリメントや化粧品評価系への多大な波及効果が期待できる。本講演では、最近の胎盤MPSの開発動向を概説する。」

16：30～ 閉会のことば

17：00～ 懇親会（国立オリンピック記念青少年総合センター内で開催予定）

講演時間は質疑応答時間、休憩時間を含む

問合せ先：生殖・発生毒性学東京セミナー事務局

Email: tokioseminar@gmail.com

生殖・発生毒性学東京セミナーHP

（検索エンジンでは見つかりません、スマホ可）

<http://rdtoxts.wixsite.com/rdt-ts>

会員専用ページパスワード：TaylorSwift1989

以上